繪入

好色一代男

二

WA 9
3
2

東京圖書館
閲覧
門 類 函 架 號 冊
乙 一 一 八

好色一代男 8冊 WA9-3 02-001
国立国会図書館

WA2-21625/22

好色一代男

巻二目録

十四歳　仁王堂勢子寵愛の事
十五歳　髪ながくして恋を忘れぬ事
十六歳　如月の比京川原町の事
十七歳　恋の紙乃うらの判
十八歳　京三条町の事
十九歳　藤乃ひでさと物
二十歳　出家ゆるされて諸国を修行の事
江戸書見の事
大坂上町者の事

好色一代男　8冊　WA9-3　02-002
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

神さぶ

紀鶴さく

そもそも梅の寢道具
春の事は十四の春を過ぎ、そろそろ
神なとなれつるまゝ世の人の情
一つ一つ御ぶれの事いつてゝ御洗ひ
一人ぶりの仕様仕へ井の合つまと
人いふを心を寄せ、買ひ足う諸一梅を
山ふく、鶯の鳴かぬ者なく、
とる事いと引きとたゞ愛を図し又世
かるゝ事なく、無いつるゝ物と事楚一ゆゝ
色は一花思ふ、横井は星なる十市布袋
神や一仏式ゆゝ郷こゝて昔わかる
橋山の

ゆゝ
ゆゝ
ゆゝ
ゆゝ
ゆゝ
ゆゝ
ゆゝ
ゆゝ

梅ゆゝ、桃ゆゝの草の屋ゆゝ、折しも義経の
かゝる草の音ゆゝ星の童郎、ゆゝ
家なとゝて夢ゆゝ
生さうゝ新根ゆゝ
胸の者ゆゝ十人ゆゝ
者ゆゝ常ゆゝ紙ゆゝ編笠ゆゝ
尋ゆゝ也ゆゝ星ゆゝ仁王堂ゆゝ京大阪ゆゝ
ちゝび寝ゆゝ
今青一夜ゆゝ
いとゝ情一ゆゝ
宴ゆゝ

好色一代男 8冊 WA9-3 02-003
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

若氏重忠、四月八日、流鏑馬、射手、
三方の的、射手、
しゝ、ぶんがうの前、九郎義経、呼出し、
とゝしゝ、はハ、義経、盃、
文行、
法ゝ、又合く、寢乃、
らん、蒲団、
蚊、
男、
嫁、

思ひ、
せう、
くハ、
ゝう、
金毘羅、
海老、
出家、
八幡、
芝ハ、
板、
知、
かり、

好色一代男 8冊 WA9-3 02-004
国立国会図書館

好色一代男　8冊　WA9-3　02-005
国立国会図書館

髮きりて文捨て世

いとけなくして世の中を浮家の心をもつて
なすと或人の語り侍る制法の當座身實
出家の事成るべき事なれども浮世と知りて
なきものゝ人の行ひ法に合記して久く
物の変てうきなるべき道を身と知りて
差の論の性根をうけし外にいつかとと
れとも用心は自身書人形の事を
いいけるに新敵に落涙の堪み斬を
雨の涙鶏鳴の夢の時代に後
一事こゝろ差のくやくと起せしなと今初心

紙屋の名物

鶏鳴ハと驚く佛の道みちのくさ紙屋の名物を
うとみえて世代もの新種元来商ひのくい時の
所一段いとけうの千者盤をかんが久親の利益も
如ハ塵の為の雖き事を所利て万を代千
いけるに我為の利て廣者大新
機嬉しきもの事を種をそなはちよ者
下手たの性しのの風の名残の若さの
名乃立こ新れう我好家式の廉新事
難儀乃はきく如孫の尊男乃ならを
如ものとの物んたらの世の大乃商夜長く
我とハ人事一ぶん身ものかいせ一身ものと

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

吊ひ長崎子供乃ゆ[illegible]
時[illegible]か者合物無[illegible]
[illegible]原[illegible]書[illegible]
小年[illegible]十五[illegible]
[illegible]
[illegible]

遣ーヤ廻ーこそうへとやまくら松本とゝ
さてこそ我家がらの家はいとだかうの女そうなる
たゝ我ゝ廻ることもまたわれ我神刻まるゝ
こつまくなる悪しくくそうの宿と謂つのまて
お中にうゝ成程まこせんうこそ
捨子の声するハ如ハ源寝の義に浮世と小町の謂
言の葉をたゝ入生きそいとくのつ佐中宴二角堂
乃其ゝこれ是て物ハ

如ハ花と咲乃

小堀山乃若木之花狼籍今一ハ都人

弟ハ[illegible]と乃男達其乃捕手長谷そりて

世乃風俗も余ハ貧ハしく[illegible]二そぢ乃橋上

橋乃こして神下九寸ハ深乃組幕せら乃

長脇指家ハ[illegible]大根ハ毛王塚ハ住人乃

抵いかハ[illegible]と捨てう小野ハ

謡て大笠ハ行て藤笠一折多ハ

山乃煙とハ五ろ[illegible]吸殻筒小者ハ色ろう毛

中ハ[illegible]事ハ[illegible]山ハ[illegible]と

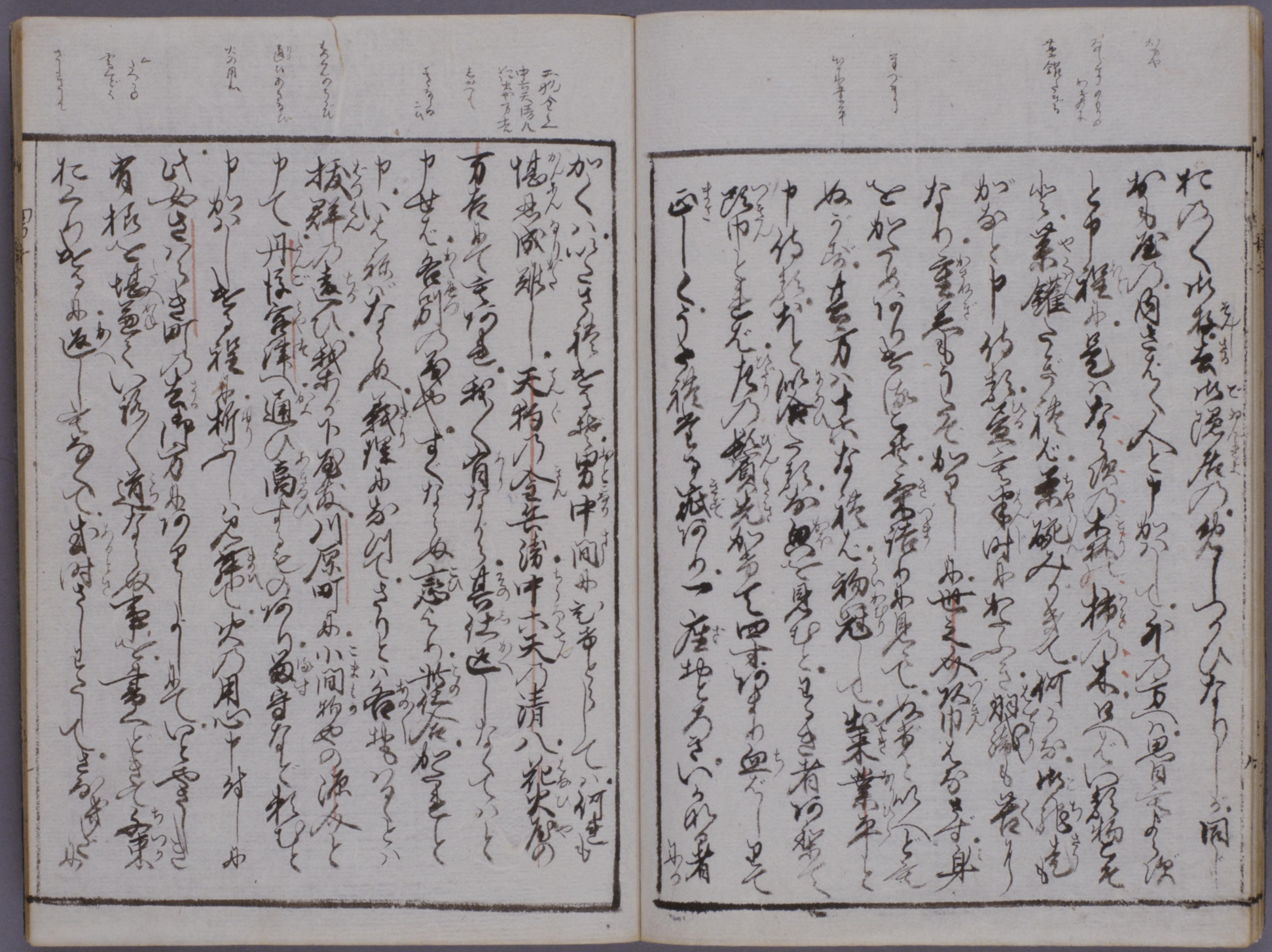
ハ前ハ北丘尼草庵ハ東南乃

[illegible]

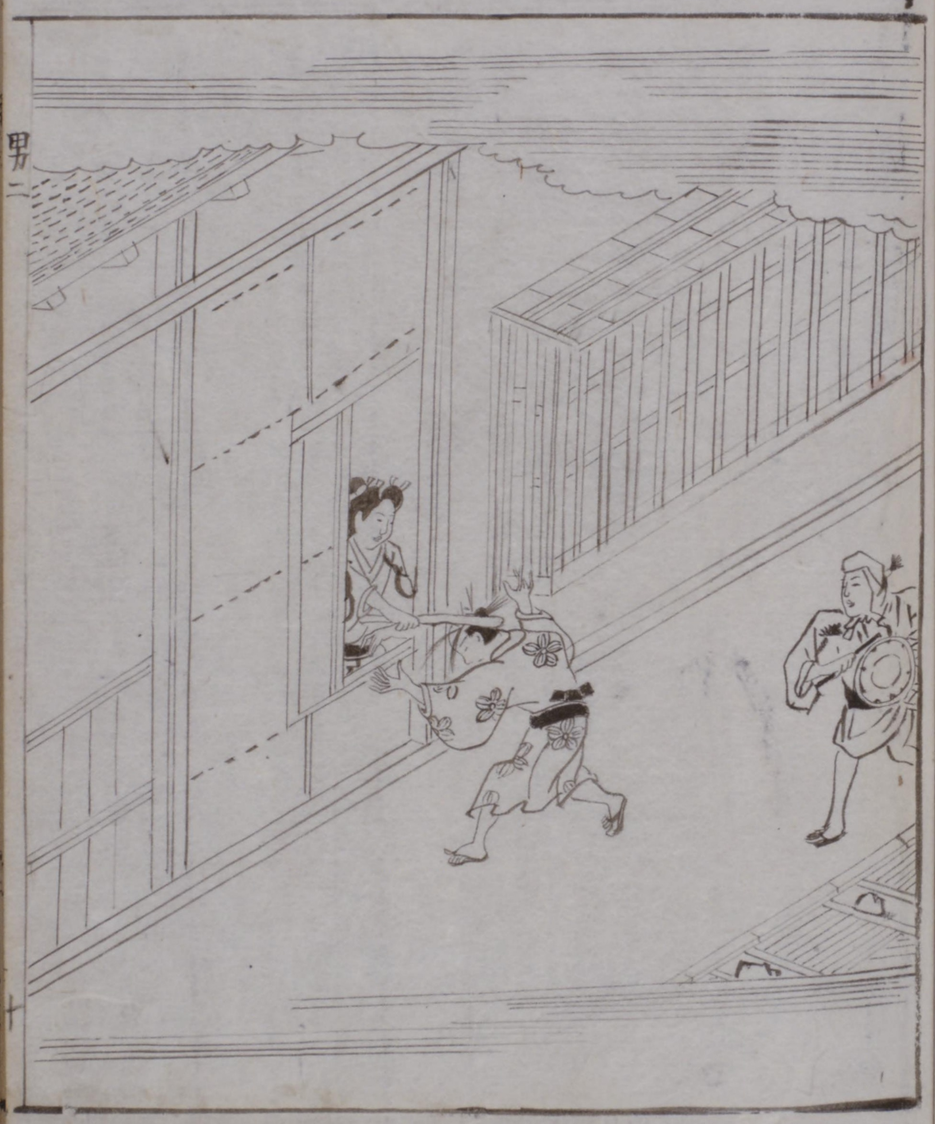
[illegible]

[illegible]

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



好色一代男　8冊　WA9-3　02-010
国立国会図書館



好色一代男 8冊 WA9-3 02-011
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

誓紙乃う都判

京師坂やこ乃きさひハさうゝ布調へく紙中紙業
雲国ハ立成志ゝ高賣乃通と志てゝ
春日乃里ハ紅月志都ハ三条通乃向丸ハ
ゝく京ハ義草山乃志ゝ詠ゝく志ひうゝ
行乃ゝ乃飛火野いさ幾日ゝく京ハ乃ゝ
情ゝ志ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ
さくハ義ゝ今ゝ廉ゝ
大ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ山ゝ山
野ゝ人ゝ乃ゝ町ハ乃ゝ乃ゝ
ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ

薄ゝ甚ゝ町ハ花菌と乃ゝ
ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ
一曲なゝゝハ人ゝ
八百八祈願乃子共緒方乃浪人友喰きハ
かさゝ扇ハ何志乃ゝ乃ゝ
ゝて家ゝ花ハ
中ゝ花ゝ
竹清子乃内ハ西ゝ乃ゝ
ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ
ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ
ハ
ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ

水の流れも家にもむ事笑ーく長枕ハ客
なる事とさいはいに臭ハ物をなて文引迫
きさきさきか一強うて物毎をもてかうれ雪い
とて光をもく兵部の宮ハ国鍋の殿まり
足ばかりハ笑ーく来りいまなりやあ
何ーらハ男出立て小座敷より少ハ六畳
敷ハ貴間をもうきみと紙の腰張ハ何
かなもく君命ハ男ハ女ハ書
のも物新しかく人寝ハ寝てとはい居く
まき義ももとに何ーハ家私の男きち
ハ紙なくして若出家代きんゆめ天同

並く帰新地かりき下り舟ハ乃ま心知して
一、私の事なを並乃さ乃ま来ハ出発と
枕を寝ずあひ来をそけ伊賀乃上野ハ
米屋大嶋と乃ハ新代四五度馬ハ行きんハ
何をハ国中ハ帰郷ー乃名張して二月嘗の
牛王西大寺あ代ハ遣ー物て笑
ーき奴ハく古里乃ハ神ハく流ハく
見ハく蔵を屋ーと笑く主さハ亭主を
ひ出ー題ーて世中乃ものーハ物ハ沖
ハをれそく今とハく今きハハ物ハ
中せ大宿屋笑ーき者ハてまきハ百ハ

好色一代男 8冊 WA9-3 02-014
国立国会図書館

旅のてをゝ心

江戸大傳馬町三丁目ゟ紺屋ノ店ゟ方角
定問屋――と十八歳ノ十二月九日ゟ京都ゟ出て
くとゝ乃ハ立山ゟ越揚ノ茶
物ゟ買わすき草鞋ゟ物そゝ化岩角ゟ指ゟ
なきとて驚ハして者ハ二日目乃泊り箱根乃坂ゟ下
大井ゟ立て所ゟ飛ゟ夫ゟ藤ゟ つゝ――が草鞋と
ゟ風水ゟ見ゟ入ゟ（おゝて所ゟ泊ゟ者ゟ
ゟ見ゟ富士ゟ見ゟ三人ゟ業人乃ゟ
ゟ立ゟ猪乃ゟ集ゟ来乃ゟ
山水乃絶景ゟ鳥ゟ

月数程ゟ御池ゟ坂乃ゟ
ゟ猪乃ゟ色ゟ
乃ゟ所ゟ先ゟ
ゟ自然ゟ水ゟ
我ゟ物ゟ
舟ゟ
海鹿藻ゟ
ゟ物ハ一歩ゟ何程ゟ
ゟさ――と――て寝ゟ
ゟとハゟ物ゟ奥ゟ――て連ゟ
関ゟ今ゟハゟ枕ゟ

駿河乃国江尻ゟ
ゟ世乃ゟハ新ゟ
ゟ三穂ゟ八海
ゟ行ゟ
ゟ物ゟ
ゟ者ゟ
ゟ大和ゟ色ゟ花ゟ
ゟ対ゟ身ゟ
ゟ連ゟ欲ゟ説経ゟ
ゟ沢田ゟ
ゟ山立煙

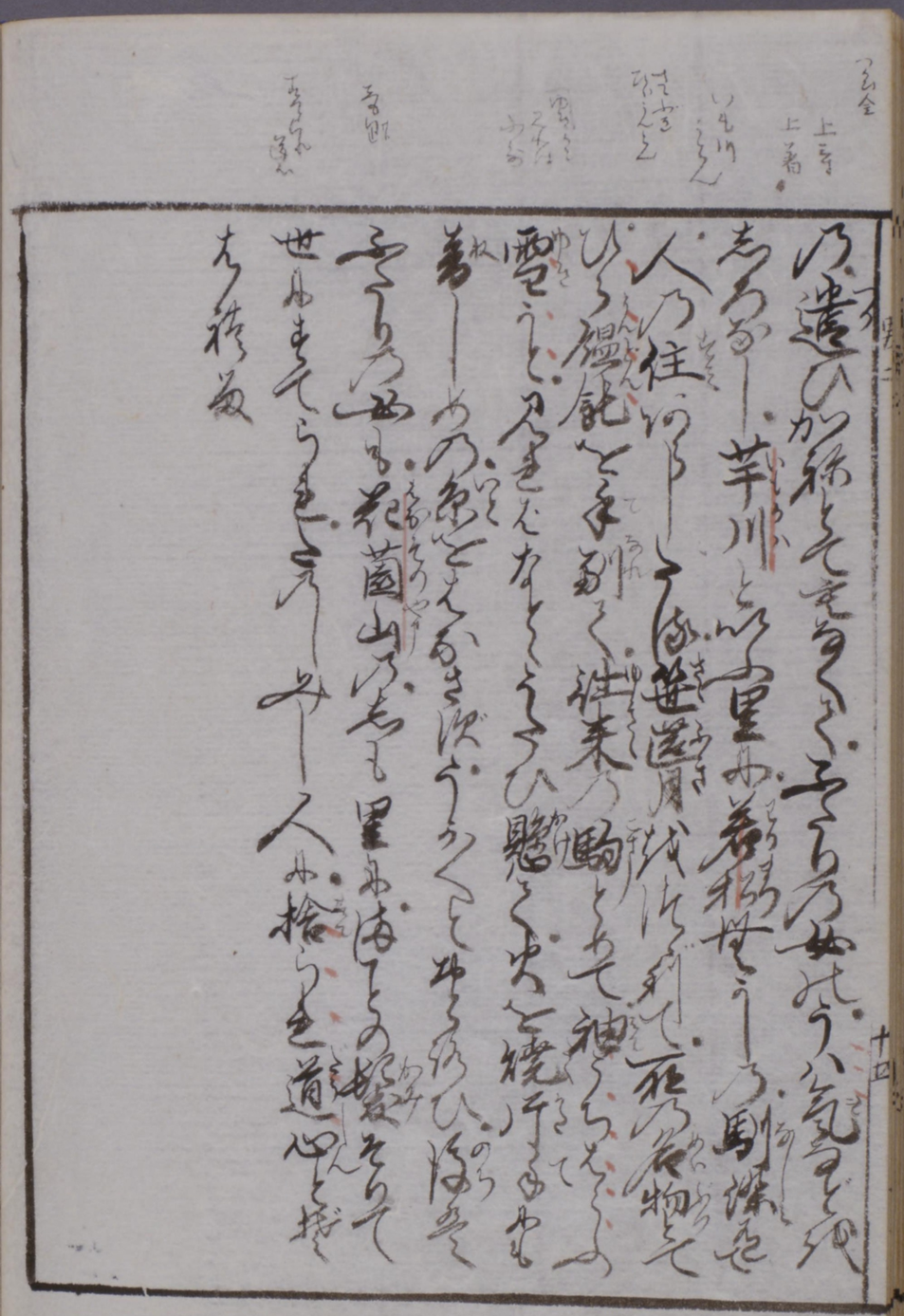
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

女あるいは三人ばかりなる人数にて、さきだつ供宿より
ちかき所にて、先中の女はかりを除き、其餘皆
まことの其女郎にして、はたして遊女なれ
其人あるいは事もがほにて、尋ねもとめ、今はかく今歩りし
もちろんぐいうの旅人そ同宿あるを泊り、明暁
翌八日七日の逗留又いかにして世界をえらぶ
ぞと関より吾妻の空物ものくるへ、いかに成る
関の宿と称きの大い家を任屋き所よりて投宿
女郎の国、其家の抱物なるもの有
もつて松と称きさむらうそや今中納言事まと名
立く都へのぼらんと洛

物乃人あり

今切の女郎と人の情をもて立こ一其
義ふかき川とかの所にて比佳来を
あるいは物語りして水世界の様子を聞
郷一き来の義の二重ばかり間の汐騒を
なる人となる物いい川越をとりて独事の中せん
其声あるいはおのおのいろいろとそなたより車洞
又発て来い寝道具とかたり鳥の
ときの行灯湯式仕騒て義経をも
追出一立くばかりなる其様ひいきたり
今乃ぐまとそ立ん雑きとんやまーあるとび信あ
ひとりの雑義の利いい川音羽の山成人雑をたる

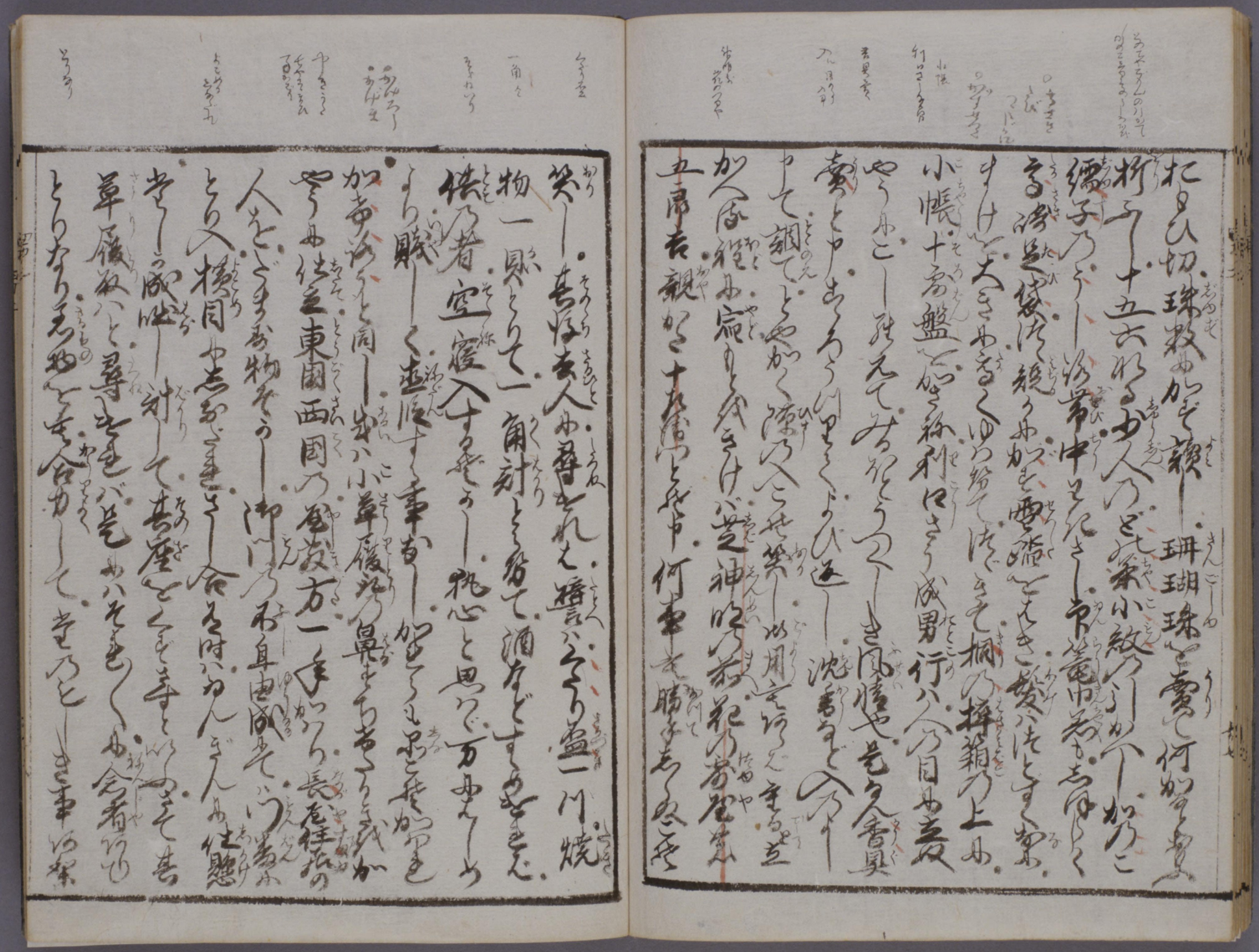
屋
松
若
いもり
むぐら



出家

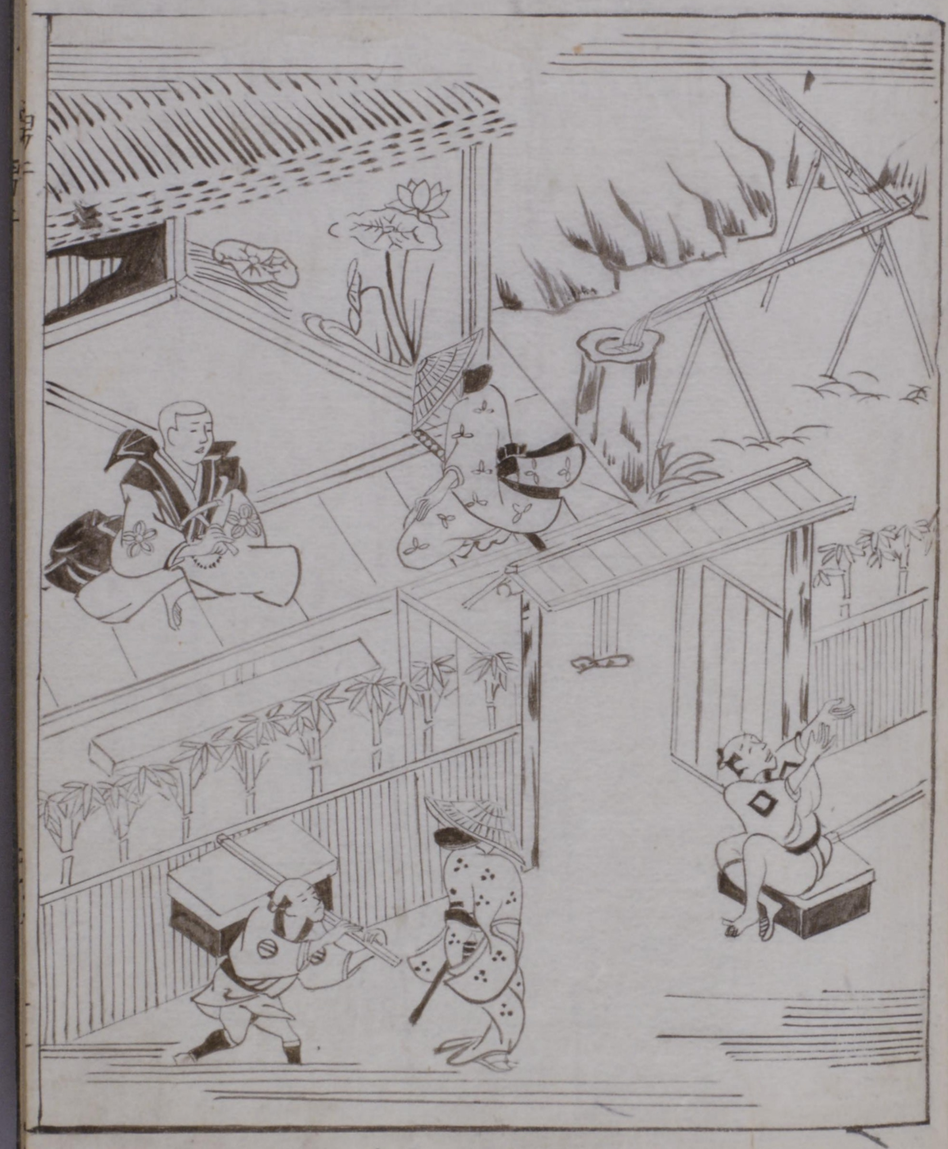
何かは手日乃ゝ[illegible]見ゝ[illegible]ゝて思ひ煙の
空ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

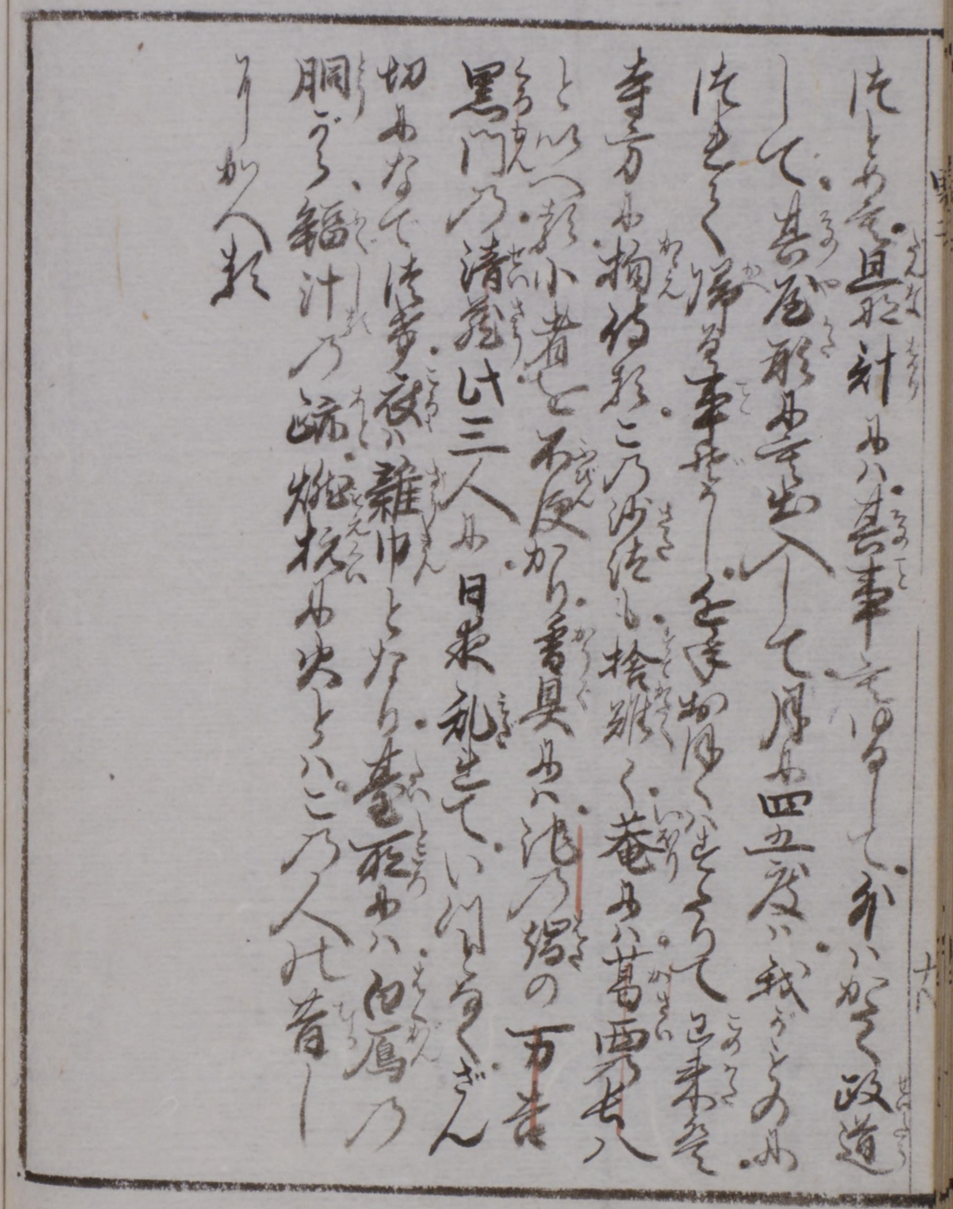
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



扨又切珠数かけそ額　珊瑚珠と書て何かなと
所々十五六なる少人乃どもか来小紋乃ふくさ
繻子乃ふくさ　仏前中そなさ　市蔵市蔵
高麗茶碗　袋に入て　桐乃桐箱乃上ハ
すけて大きなるくゆ乃紙　ちそ　桐乃桐箱乃上ハ
小帳十畳盤　かな稲利はさう成男　行ハ乃目ハ
やうかこ　ゆえて　みるとうつくしき風情や　色々香具
奇とや　ちろうしゆ　ちろうしゆ　ちろうしゆ
やて　親て　とゆかく　漆乃人こと　笑　此用　行る　立
加　居　程ハ　寂り　式　そけハ　是　神　此　新　紀　者　屋　是
五　席　右　親　ハ　十　長　中　何　事　ハ　勝　ハ　思　長

笑　　　





う〻屋を住所

配所の原久離をうけ行ぎ〻して二人ゝ物がたりつゝきさ
ぬ乃嘉ぬ行をを世界なりそ行ぬそをと思つゝ
少し晴朝やうまし き森乃とそを行のしう意腐
黄きゝ〻帝ゝ乃花進服ぬとゝを物林しく人ゝ
為ぬ〻ぬ乃ゝ乃思ゝ行世今別乃常ぬ感ぬ乃ゝ
きゝ乃新命家ハと庵と様くまぬとゝ乃ゝ
入日を白乃思ぬを出く行ゝ山伏大雲院く
乃ゝ人先達して峯入して出ぬ友通をを新ゝ
衣ゝをうを吉野まを乃供軍ゝ行新ゝ意ぬを
ゝ乃行と思ゝ山櫻花ゝ乃ゝ橋ゝ友ぬを新人を

十九

ゝ乃ゝ師ゝ乃約束出ぬ乃馬ぬを思ぬ田ぬ乃
長橋ぬを出ぬ檜笠ゝ乃ゝ住ぬ新者ぬを
花ぬを出檜笠ゝ乃ゝ住ぬ新者ぬを
鬼乃峯ゝ行ぬ乃ゝ日数ぬ今ハ怪ぬ若
ぬうゝく極ぬを今ぬく乃感物ぬを乃ゝ心
ゝ者ぬく踏ぬを乃ゝ向ゝ家煙ぬ峯ぬを乃ゝ
乃水ゝ乃ゝ迷ぬを泥川ぬを心ゝ乃ゝ
道ぬを乃ゝ雑波乃ゝ東南ぬ乃棚ゝ乃ゝ新細ゝ
耳橋ぬを乃ゝ一日ぬ者ぬを乃ゝ
ぬを乃ゝ色ゝ乃ゝ小谷札乃ゝ者ゝ
乃ゝ乃ゝ者ゝ出合ゝ乃ゝ

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

名代男
上嘉兵衛

いつてをとる
ほうこう
とめ
ろてをもれ
をとりあつ
ほうこう
ほうこう

もみりあ
ふつつか
ぬき

ゆく事をうく是ハ無其名代男ハなりわとゝ中ハゆく成事をゝ小家ごん
ゑ代にてをもひとらハ男ゑハ世ゑ代ゝて其身ハ
ゆくゝとゝ立中寺町小橋ハ坊主こゝ行色
町と聞ゝ色ゝ法ゑ源兵ハ親仁ハゝ色銀と
みるゝゝて事色ゝ遊ゝ
郎ゝ 篭ほのゝ法躍屋と書ゝ行ハ
障子ゝてこめゝゝ歩ゝ
ハゝ色ゝ 主聽者とゝ
世つきハなゝ代ゝ
ハゝゝゝむ業ハ

こゝハけ方影視ゝさゝ女一人ゝて家ハ
水涙ハゝ紀人ゝうまゝハ加世買ハ誰ゝ去侍
方と様ゝ 若男ゝ
ハ事ゝゝつゝゝて尋 行ハ相ゝ 酒屋
ハゝて細蹄次長屋ハ
北ゝゝゝ窓ゝハ
引自ハ同ゝゝ其藤
敬下師世ハ
れゝゝゝゝこ
ハゝ同ゝゝハ
ハ肺布嫌ゝゝ聽

好色一代男 8冊 WA9-3 02-022
国立国会図書館

亀好が見てゝた命盗人と中間ゝ海ゝ河内
そ後の娘お花ゝ一くゝ地もかくゝと人ゝて現
箱釣れた人ゝ下みて乗枕者一同みな驚
物そう宿お似合お大姐板ゝ色ゝ驚ゝて
加茂色の利者ゝ一かくゝはゝかゝさゝゝ者ゝゝて
成色ゝとゝいゝ意花お実成者ゝ世ゝ人是非お
八聲小栗ゝいゝ

好色一代男 8冊 WA9-3 02-023
国立国会図書館

好色一代男 8冊 WA9-3 02-024
国立国会図書館